

# 諫 早 市 要 望 書

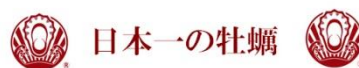
平成26年8月

## 特別要望

### 諫早湾干拓事業における環境改善について



中央干拓地での環境保全型農業で栽培したタマネギ収穫状況



小長井町漁業協同組合  
**華漣**  
長崎県小長井

第1回 かき日本一決定戦  
JAPAN Oyster Championships  
初代王者 2012.04.01

平成24年第1回かき日本一決定戦で  
初代王者となった小長井牡蠣『華漣』

現在、国営諫早湾干拓事業における潮受堤防排水門の開門調査の是非については複数の司法の場で係争中であり、国自らが判断を示さない以上、長期化が予想されるものとなってきております。

しかしながら現状においては、アオコやユスリカの発生等、調整池の水質値も含め、無用な風評被害を招きかねない状況が存在しています。

国においては、調整池の浚渫も含め、調整池周辺的环境改善について抜本的な対策を講じていただきますよう、強く要望します。

平成26年8月

諫 早 市 長      宮 本 明 雄

諫早市議会議長      村 川 喜 信

# 要 望 書

昨年11月12日、長崎地裁において出された開門を差し止めるとした仮処分の決定は、福岡高裁による確定判決の内容にまで踏み込んだものであったにも関わらず、国は依然として開門の是非に対して自らの判断を示していません。

国営諫早湾干拓事業は、地元の切なる希望に応える形で平成20年3月に完成しました。

新たな干拓農地での営農も順調であり、周辺低平地においては湛水被害や潮風害の軽減、農業用水の確保も安定して干ばつ被害の心配も大幅に少なくなっています。

また、諫早湾内における漁業においては、全国的に漁業不振と言われる中、シバエビ、カニ、クチゾコの好漁や平成24年には養殖牡蠣「華漣」が日本一になるなど、明るい兆しが見えるものとなっております。

そのような中、調整池周辺をとりまく環境も淡水化により新たな生態系への移行が進み、安定してきましたが、アオコやユスリカの大量発生等の事案も存在しています。

現状において、これらの現象による実質的な被害発生の可能性は少ないものと確信しておりますが、新たな風評被害の発生もまた否めません。未だ目標値をクリアしていない調整池の水質と併せ、地元住民の方々も不安を感じずにはられない状況です。

平成9年4月の閉め切り後17年を経過し、諫早市が進めてきた下水道普及率も80%を超えた今、国におかれましては調整池の底泥の浚渫等、調整池の環境改善に関して抜本的な対策を実施していただきますよう、ここに要望します。

## アオコとユスリカの発生状況



北部排水門でのアオコの発生状況



潮受堤防でのユスリカの発生状況